

シリーズ 第6回 この本をあなたにも薦めたい



財団法人
伊藤青少年育成奨学会
評議員 加藤 久雄

環境問題はなぜウソがまかり通るのか

今年始めに、年賀状の古紙配合率が大問題になりました。環境問題が大きくクローズアップされ、メディアの影響も大きく、地球環境をこれ以上悪化させたくない、子供の為にも改善していきたいという願いは、今や地球全体で誰にとっても疑いなく共有される前提として話が進んでいます。これに対し反対したり、異説を唱えたりすることは、変わり者だと思われたり、白い目で見られる為、非常に難しい状況になっています。

「環境問題はなぜウソがまかり通るのか」の著者、武田邦彦氏によれば、環境問題を錦の御旗とすることで、社会は合理的な判断を失っていると主張しています。

科学技術に通じた著者は、ペットボトルのリサイクルをはじめ、ごみの分別回収は地球に優しいどころか、逆にお金や資源、石油の無駄遣いだと論じ、ペットボトルは色々な容器として有効に利用し、最後には焼却するのが環境に一番良いと言っています。さらに極地の氷が解けると海水位が上昇するといった論旨には科学的根拠がないとも論じています。

私達が今、良いと思ってしていることが実は反対で、逆に環境を汚しているとしたら、本当に残念なことです。

氏の主張が全て正しいかどうか、読者の判断するところではありますが、是非御一読を推奨したい一冊です。



▲「環境問題はなぜウソがまかり通るのか」著者：武田邦彦 発行所：洋泉社

アメリカ便り 春田 桃介

早稲田大学国際教養学部3年(名古屋高校卒)
カリフォルニア大学デービス校留学中

9月にアメリカに留学してから早くも3ヶ月がたとうとしています。私にとって初めての海外生活ということもあり、最初は戸惑うことも多々ありました。しかし、現在ではこちらの生活にも慣れ、勉学に交流にと充実した日々を過ごしています。現地の学生は日本の学生に比べ、想像以上に向学心が高く、どの学生も非常に熱心に学業に取り組んでいる印象を受けました。授業で出される課題も日本の大学とは比にならない程多く、私も日々勉強に追われています。しかし、課題や試験をこなしながら思ったことは、現地の学生に勉強で負けることがないということです。確かに、英語で学んでいる為、理解するのに時間がかかることもありますが、それは決してハンデにはなっておらず、現地の学生に劣ることなく良い結果を残すことが出来ています。

また、現在私は現地の学生に対する日本語の授業で、教授の補佐を務めており、そこでは日本語を教えることの難しさを感じるとともに、日本語は本当に素晴らしい言語であると誇りに思いました。例えば、日本語には「花びらがひらひら落ちる。」という表現があります。この、「ひらひら」に相当する表現が英語にはないため、学生から質問を受けた時、説明するのに非常に苦労しました。しかし、それと同時に「ひらひら」という表現が日本語特有の素晴らしい表現なんだと強く感じました。この日本語の授業の学生達は皆、日本についてとても興味を抱いており、日本の文化や伝統について非常に多くの質問を受けます。それに答えるたびに、自分自身も日本の文化や歴史、伝統について再認識させられています。また、私自身もその学生達にアメリカの文化、伝統などについて様々なことを聞き、少しでもアメリカという国について学ぼうとしています。

異文化における生活のため、苦労も絶えませんが、充実した日々を過ごせています。このような貴重な経験が出来ているのも、伊藤財団様から頂いている奨学金のおかげです。本当にありがとうございます。そして、留学をさせてくれた母や、周りの人に感謝しながら、一日一日を無駄にしないように一生懸命頑張っていこうと思います。

「広辞苑」勉強に使って 伊藤青少年育成奨学会 恵那市の全小中高校に寄贈

伊藤理事長は、恵那市名誉市民に推挙されたお礼に恵那市内の全小中高校29校に最近改訂されたばかりの「広辞苑第六版」を本年2月寄贈しました。

お便りをお待ちしています
奨学会では皆様からのご意見・ご質問・感想などのお便りをお待ちしています。
ハガキまたはE-mailで下記の宛先までお送りください。



奨学会からのお知らせ
平成20年度前期奨学金支給のための「生活学業状況報告書」の提出は4月1日～20日となっておりますので他の書類と併せて提出して下さい。

財団法人 伊藤青少年育成奨学会事務局
〒507-0062 岐阜県多治見市大針町661-1
TEL 0572-20-0800(直) FAX 0572-29-1168
E-mail:webmaster@ito-zaidan.or.jp
U R L:http://www.ito-zaidan.or.jp/
発行：財団法人 伊藤青少年育成奨学会
印刷：トーヨー印刷株式会社

伊藤青少年育成奨学会 奨学会だより

2008.4.1
vol.6
年2回発行
(4月・10月)

- 恵那市名誉市民式典
- 奨学生の年度別出身高等学校別明細
- 先輩からの便り紹介
- 奨学生の声の紹介

シリーズ 第6回 この本をあなたにも薦めたい

伊藤理事長 恵那市名誉市民に!!



財団法人
伊藤青少年育成奨学会
理事長 伊藤 喜美

伊藤青少年育成奨学会理事長でパロー相談役名誉会長の伊藤喜美理事長の名誉市民推挙式が三月二十日、恵那文化センターで開かれました。

パローを創業して発展させる一方、恵那市国際交流協会会長や恵那商工会議所会頭などを歴任。また、奨学会を創設して、奨学金の給付、スポーツ活動の支援、更に、昨年7月には、永年の口マンであった図書館を恵那市へ寄贈されるなど地域へ貢献してこられた。

昨年十二月、名誉市民に選ばれ、栄誉を祝うため推挙式が開かれ、地元選出の古屋圭司衆院議員ら政財界関係者など約八百五十人が出席。ご臨席いただいた可知義明市長が「郷土の発展に大きく貢献された」と式辞。司葉子・日本大正村村長からもご祝辞をいただいた。そして、可知市長より名誉市民推挙状や名誉市民章などが贈られた。

伊藤理事長は「恵那の土地が私を育ててくれた。郷土に褒められるのが一番うれしい。名誉市民の栄誉を生涯の誇りとしたい」と感謝の言葉を述べられた。

引続き午後からは恵那市名誉市民受賞記念祝賀会実行委員会による祝賀会が恵那峡グランドホテルにて行われ、四百二十人が出席。恵那少年少女合唱団の合唱に始まり、華やかな祝賀会が執り行われました。また、三月二十七日には、パローの主な取引先など三百五十人を招待して、名古屋観光ホテルで祝賀会が行われた。



▲可知恵那市長から名誉市民推挙状を授与 右は奥様の女子様



▲女優の司葉子さんもお祝いに臨席された



▲恵那少年少女合唱団



▲恵那高等学校音楽部の合唱

お礼の言葉

財団法人伊藤青少年育成奨学会 理事長 伊藤 喜美

本日は、私の名誉市民にちなむ会を催していただき、感謝にたえません。現在の恵那市と中津川市を併せた旧恵那郡は県の中でも寒いところで、私の育った頃は、温暖化が叫ばれている今に比べ、はるかに寒さが厳しかったような気がします。幼い頃、広びろとした恵那峡の湖面に張りついた氷の上でカブトスケートで遊んだことが、鮮明に思い出されます。山地が多くて耕地が少ないこの地方では、徳川時代のように石高で言う時代なら、大変貧しい土地です。しかし、その寒さが大変質の良い寒天を作り、またご神木にもなる東濃檜を育てるのです。成長が遅く、したがって、年輪が細かく肌理も細かい素晴らしい檜を育てる。そんな風土が恵那地方の人間を辛抱強くし、かつ不屈の精神を育むのだと思います。

私が中津商業学校へ入学した初々端の授業が、校長先生自ら教鞭をとる修身でした。そして、先生の第一声が「ホイース、ホイアンビシヤス」という札幌農学校のクラーク博士の有名な言葉、すなわち「少年よ大志を抱け」で、このシヨッキンクな授業の状況が今日に至るまで忘れません。

その後、太平洋戦争は始まり、昭和十八年には学徒兵出陣となり、私が宮城前を学備姿で、日軍旗をたす掛けにし、先頭を行進する写真が週刊誌の表紙を飾ったことを覚えてます。岐阜の連隊、豊橋の予備士官学校、そして諜報専門の陸軍中野学校、そして名古屋師範司令部の作戦参謀部付で軍務に精励しているときに終戦となりました。しばらくの間、混乱の時代が続きましたが、アメリカでは「世界で最も大胆な価格破壊者」と称する人物が「スーパーマーケット」なる業態で流通革命を引き起こしていることを知り、やがて日本にもこの業態は押し寄せるといつか思い、これに挑戦する決意を持ちました。昭和三十年代の初め、経済白書は「もはや戦後ではない」と時代の潮目を指摘し、そんな時「パロー」号店となる主婦の店、恵那店を誕生させました。私が二十歳の時でした。今日まで、いろいろな試行錯誤もありましたが、業績も順調に推移してきました。創業以来長く務めてきました「パロー」取締役も三年前には退任し、現在では、中部経済連合会の常任理事とパローの相談役名誉会長として、今日に至っております。

常々「企業は人なり」「パロー」は人を作る会社「モラルの高い人材、志の高い人材のいる企業は発展する」と言い続け、今から十年程前、無限の可能性を秘めた青少年に夢を託し、財団法人 伊藤青少年育成奨学会を設立致しました。私自身、戦中・戦後の混乱期に苦勞の連続ばかりであっただけに、若い人の努力の助けにと考えています。

私たちの若き日は、学徒兵出陣の世代です。とりわけ哲学書も含めた多くの書籍を求めたのは、死生観が必要だったためかもしれません。書物は文化の結晶です。私の長年の口マンであった図書館の建設、図書館こそ人材育成の場であり、文化の中心であり、特に社会構造が変化している昨今の流れに負けず、豊かな人間性を醸成する知の殿堂と考えております。その図書館を寄贈できたことは望外の喜びです。また、寄贈させていただいた図書館に「伊藤文庫」という副称を付けることを許していただき、本当に感謝しております。ありがとうございます。

東濃地方は佐藤 斉をはじめ人材を輩出するところで、近來をとっても博士号等の取得者も大変多いとのこと。その先達の方をさしおいて私に「このたび名誉市民との仰せで身に余る光栄と思っております。さしたる取り得もない私ですが、先達に少々胸を張れることがあるとするなら、学生時代、軍隊時代を除いて、私は恵那の地を離れたことがない」といっています。それは取も直さず恵那の地が私を育ててくれたということなのです。私の自分の経済活動はもとより、消防団活動や商工会議所活動など、どこを切っても恵那の血液が流れています。人はいくつになっても親に褒められたいものです。その親がもはやいない私は、郷土に褒められることが一番嬉しい。今日の皆様方一人ひとりに褒められ、一人ひとりに「名誉市民」にしたいな、そう思っています。この「名誉市民」の栄誉を生涯の誇りとしてゆきます。

過去5年間の奨学生の年度別、出身高等学校別明細(単位:人)

出身高等学校	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	合計
恵那	京都大 筑波大	京都女子大	名古屋大	岐阜大 東京大	名古屋大 明治大 早稲田大	9
恵那農業			千葉大			1
阿木	朝日大					1
中津	岐阜大	宮崎公立大	岡山大	愛知淑徳大	立命館大 三重大	6
中津商業		福島大	日本体育大	山梨学院大	白鷗大 京都橘大	5
土岐商業	早稲田大			早稲田大 富山大		3
多治見北	大阪外国語大 名古屋大	大阪大	南山大	京都大	愛知県立大 岐阜大	7
多治見	岐阜大	静岡大	静岡大 愛知大		岐阜大	5
多治見西	名古屋芸術大	法政大				2
瑞浪麗澤			愛知淑徳大		千葉大	2
中京				早稲田大		1
可児		東京大	東京大	名古屋大	静岡大	4
帝京大学可児				同志社大		1
加茂	愛知県立大		富山大			2
美濃加茂					名古屋大	1
関		名古屋大			名古屋大	2
関商工		愛知工業大				1
白川		金城学院大				1
岐阜	岐阜大 慶応義塾大	名古屋大 大阪大 岐阜薬科大 慶応義塾大	大阪府立大 金沢大	名古屋大 慶応義塾大	津田塾大 岐阜大	12
岐阜北	早稲田大	名古屋大		名古屋大 金沢大	名古屋市立大	5
加納				愛知教育大	岐阜大 信州大	3
長良			岐阜大			1
岐山	岐阜大		静岡大	日本福祉大	南山大	4
県立岐阜商業			静岡大	横浜国立大 名古屋芸術大	中央大	4
岐阜総合学園		滋賀大				1
岐阜女子		大阪外国語大				1
富田	愛知大					1
岐阜聖徳大学附属				東京農工大		1
大垣北		南山大	京都大	東京大 京都大	東京大(3人) 京都大	8
大垣商業		岐阜県立看護大				1
池田				山梨大		1
大垣日大	名古屋大					1
郡上			金沢大	金沢大		2
斐太	愛知大	京都大	金沢大			3
斐太農林			四日市大			1
滝				長崎大		1
名古屋				早稲田大		1
大検			早稲田大			1
合計	17	20	20	25	25	107*

●全国の国立大学、私立大学入学者の中から、毎年25名(平成17年度までは20名)・月額3万円を4年間支給します。(返還の必要はありません。高校3年生の時に選考します。)
お問い合わせ：伊藤青少年育成奨学会事務局

先輩からの便り

自分で考え、答えを導く力を磨くことができた4年間でした。

加藤 智美 名古屋大学文学部人文学科卒業

名古屋大学の文学部は、2年次に専攻を選択することになります。私が選んだのは美術史学。入学時はまったく知らなかった学問分野ですが、高校生のころから歴史が好きでしたし、1年次に受けた美術史の授業がとても興味深かったので迷わず選択しました。

美術史学の魅力は、答えが決まってないことに尽きると思います。特に私は日本の江戸時代の美術を専門にしていたので、作者の意図を知る手がかりは作品から探るしかありません。つまり、作品を見て自分が感じるままを、自由な解釈で発表することができるとも言えるわけです。そうすることで、自分で考える力、論理的にまとめる力、発表する力を鍛えることができたと思います。

そんな私が就職先に選んだのは、金融機関でした。美術史学とはまったくと違っていいほど関わりのない業界です。しかし、内定先企業のトラディショナルな社風が魅力的だったことと、同じ研究室で尊敬していた先輩がそちらに就職されていて、いろいろとお話を伺う機会があったことから、この会社でぜひ働きたいという思いが強くなっていました。専門的な知識などはこれからの勉強になりますが、美術史学を学んだことで身に付けた、自分で考える力や困難を乗り越える力は、社会でも役に立つはず。自分の長所である冷静さや穏やかさを発揮して、お客様や同僚から信頼され、愛される社会人になりたいと思います。

大学院進学にあたって

岩田 吾一 名古屋大学工学部化学・生物工学科卒業

8月末の大学院入試を無事に終え、9月半ばから卒業研究の準備を始めてきました。現在は学内に居る大半の時間を研究室で過ごし、実験や論文による学習を行っています。関連論文の多くは英語で書かれているため非常に苦戦していますが、TOEICの勉強も並行して気分転換しつつ頑張っています。

今期は既に卒業研究を除く卒業要求単位数を補完しているので、ほぼ全ての時間を卒業研究に費やしています。私は「半導体産業から排出されるハロゲンガスの石灰系吸収剤による吸収挙動」というテーマで研究を行っています。既に実験装置の組み立てと吸収確認予備実験を終え、現在は、吸収挙動に係わる因子の研究ならびに関連論文による学習を行っています。一般的に気体－固体反応速度は気体－液体反応速度よりも遅いので、1回の実験で10数時間要することもあります。したがって「実験は計画的に」が今後の課題となりそうです。最近では10万倍程度まで拡大可能な顕微鏡を利用して、石灰系吸収剤の表面構造を観察しました。肉眼では見えない細かい粒の中を見ることができ、とても感動しました。

奨学生の声

山川 陽祐 早稲田大学社会科学部3年(中京高校卒)



向かって左:山川陽祐 右:丹羽力人(早大野球部)

(※理事長を囲んで)

今年の早稲田大学野球部は過去に例を見ない程の注目を受け、テレビ・新聞・雑誌等のメディアを賑わせました。全国から常に見られているという重圧は、当事者である斎藤佑樹だけでなく、全野球部員にも少なからずかかっており、私も自身の言動に、より一層自覚と責任を持つことができました。この環境のおかげで自分の襟を正すことができたのではないかと思います。 そんな中、我々のチームは春季東京六大学野球リーグ戦、秋季東京六大学野球リーグ戦を連覇し、更には全国の舞台でも全日本大学野球選手権大会優勝、明治神宮野球大会準優勝という結果を残し、春、大学日本一、秋も全国二位という偉業を成し遂げました。私も今年度は全試合にベンチ入りし、代打等でチームに貢献できたと自負しております。お蔭様で非常に貴重な経験をさせて頂いております。

今年度は特に教職課程関連の教科に力を注いで取り組んでおります。教科教育法では、学習指導案の作成、更にそれに基づき模擬授業の展開をするといった教育実習に向けてシミュレーションといえる活動を行っております。

私は将来教職員の道を行っていきたくと考えているのですが、「人に物を教える」というのがどれほど難しいことなのか、今現在痛感しております。在学中に更なる努力を積み重ねなければ自分の志す道は開けてこないと感じ、懸命に勉学に励んでおります。早稲田大学は「文武両道日本一」を目指しており、野球部は中でも象徴的存在です。今年は「武」の面では日本一になることができたので、「文」の方も疎かにすることなく、文字通り「両立」できるように精進していきたいと思っております。

安田 恭平 東京大学教養学部理科一類2年(大垣北高校卒)

現在力を入れているのは、大学における線型代数の授業です。これは、私が将来における数学科への進学を視野に入れているためです。また、真に少しずつではありますが、各種の数学に関する書物も読み始めるようになりました。学ぶ数学の対象の奥深さを認識すると共に、まだ造詣の浅い自分を恥じ、更に精進しなければならないと認識させられています。

また、大学における同級生や、寮における同輩の一部と学業に関して教え合うことも、互いに打ち解けていく中で進んでいます。自らの理解を深め、淀み無く教えられることを目指しながら、相手の深い理解を素直に賞賛できるような精神性を身に付けたいです。部活が一段落つき次第、自学自習でその遅れを取り戻す所存です。

石原 洋平 京都大学工学部地球工学科3年(多治見北高校卒)

2回生の前期は専門科目の中でも概論的なものが多く、曖昧だった私たちの学科に対するビジョンがはっきりとしました。それに対し、後期になり、専門科目の中心は実用的な物理・数学の演習へと移ってきました。今までは“文字”が授業の中心でしたが、うって変わって“数字・記号”がもっぱら授業で扱われるようになってきました。前期までと比べて負担が増え、試行錯誤しながら学習に取り組んでいるような感じですが、しかし、これも地球工学を学ぶうえで欠かせないものです。挫折しないように地道に取り組み、基礎を確実に習得したいと思います。

藤川 奈津子 名古屋大学医学部保健学科3年(岐阜高校卒)

後期になって講義は全て専門科目になりました。ひとつひとつの講義がとても重要です。異常な呼吸音を聴診する練習や、横隔膜の可動域を調べる練習など、一度の講義の中では習得できない技術を習っています。今特に興味があるのは、母性看護学と精神看護学です。女性の生涯を通じた成長過程や、新しい命の誕生の過程や、その命を産む喜びやリスクなど、勉強する度に命の大切さや女性の強さを感じます。自分にも深く関わることなので、興味がわくし、子どもを産みたいなあという気持ちになります。精神看護学は今とても重要な分野だと思います。受診していなくても人間はさまざまな不安を抱えています。抑うつ状態にある人も少なくないと思います。病院だけではなく日常でもさまざまな人の役に立てる知識を得ることができずす。中には自分に当てはまることもあり、ドキッとすることもあります。自分の心の状態を知ることに役立っています。覚えることがたくさんありますが、楽しんで学業に取り組んでいます。

山田 大介 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科3年(岐山高校卒)

夏期休暇を利用して愛知県にある知的障害児施設に3日間のボランティアに行きました。これまで、保育園等で障害のない児童との交流は何度かしたことがあったのですが、障害のある児童との交流は一度もなかったので、不安な気持ちでボランティアに臨んだのですが、実際に交流を始めてみれば、障害のため言葉がうまく話せなかったり、理解できなかったりということもありましたが、それは表情や仕種を合わせることで解決できましたし、それ以外は障害のない児童と大きな違いはなく交流もすっかりできました。

今思えば、障害があるということだけを強く考え、障害のある児童とない児童を区別していた自分が恥ずかしいです。来年は実習もあり、多くの現場を見る機会があるので、そこでも福祉の実態を知り、知識を増やし経験を得ることで、自分の進路や為すべきことを考えていきたいです。

安保 好 千葉大学園芸学部緑地環境学科4年(恵那農業高校卒)

3年後期に入り、専門分野も絞られ、自分の興味の分野のある本を読んだりと授業以外にも勉学に励んでいます。私は地域計画学研究室に入りたいと考えています。小さなオープンスペースの計画ではなく、広域のオープンスペースの計画を考えます。今、社会では農地放棄や農村と都市の格差など問題が数多く挙げられています。私は地域計画でも農村計画に力を入れたいと考えています。そして地域格差が解決していける一つの助けとなるような研究をしたいと考えています。そのために、日頃から新聞を読み、社会がどのようになっているかをしっかりと把握し、自分の考えの一つとできるようにしていきたいと思っています。

また、他にも私は将来の夢である教員になるため、教員採用試験の勉強を毎日コツコツやっています。私はテキストで試験勉強をするだけでなく、新聞各社にも目を向け、教育に関する記事を日頃から読むようにしています。教員になることが最終目標ではなく、採用試験に合格することは一つの通過点だと思っています。教員になれた時、自分の教え方がつくっていけるよう、日頃から新聞を読み、自分の価値観をつくっていけるようにと思っています。近年は教育への関心は非常に高く、様々な問題が挙げられています。「いじめ」や「不登校」、変わりつつある大学入試制度など様々であり、私が教員になったときにも直面するであろう問題です。農業高校には、座学の他に実習もあり、他にはない良さがあります。その良さを活かしながら、私の体験ももとに、生徒一人一人と向き合っていきたいと思う気持ちで一杯です。私が思っている以上に教育現場は大変だと思います。しかし、そこで諦めず、前向きに考え、「失敗も成功にかえる」ような気持ちで取り組んでいきたいと思っています。まずは4年生の6月にある教育実習が一つの転機となります。母校に戻り教台に立ちます。それまでに恥ずかしくない自分、そして母校を卒業したことに誇りを持てるよう、大学でさらに頑張ります。

高田 順子 京都大学工学部工業化学科4年(大垣北高校卒)

3年生になると週3回実験があり、2年生の時と比べかなり忙しくなりました。前期には有機合成実験や、高分子合成実験を行いました。実験器具の取り扱いに慣れておらずとまどったり、実験がうまくいかなかったりして、大変だと感じました。それに加え、実験レポートや、授業への課題もあり、特に前期はこれらをこなしていくのに精一杯だったという印象です。講義は欠かさず出席していますが、やはり講義を聞くだけではなかなか理解できない部分が多いので、自ら学習することが大切だと実感しています。成績については、順調に単位を取得できており、3年前期の科目では、ほとんどの科目で優を取ることができました。後期もこの調子でさらに努力していきたいと思います。

4年生になると研究室に配属されます。できるだけ多くの研究室を訪問・見学し、自分に合った研究室を見つけたいと思います。また、大学卒業後は、大学院に進学するつもりです。今後、将来についてさらに真剣に考えていきたいです。

…………… 2007年11月までにいただいたお便りです。

奨学会からのコメント

文武両道日本一を目指す伝統を受継ぎ、一生懸命取り組んでおられる姿が目には浮かびます。怪我に気をつけて頑張ってください。期待しております。

奨学会からのコメント

線型代数は、凡人には理解不可能な高度な学問であることがわかりました。数学の分野で世界に負けないよう目標に向かって邁進してください。

奨学会からのコメント

人口の急増と産業技術の高度化、それに伴う資源の大量消費や環境汚染、温暖化などにより地球は深刻な状況になっており、これらに対する社会の要請は急務。

奨学会からのコメント

母性看護学、精神看護学は、社会構造が著しく悪化している昨今喫緊の要事。すべての人が流れに負けず豊かな人間性を取り戻すための一助になるよう。

奨学会からのコメント

3日間の知的障害児との交流であなたは素晴らしいことに気づかれました。世の中の多くの知的障害児のために一肌ぬいてください。

奨学会からのコメント

世界らん展での恵那農業高校のレベルの高さにはいつも感服しております。報告書による学問への取り組み姿勢立派です。力をつけて帰郷してください。

奨学会からのコメント

研究室で実験に没頭されている姿が目には浮かびます。京大工学部工業化学科は、福井謙一博士、野依良治博士のノーベル化学賞受賞者を輩出しており、伝統ある学風を受け継いで成果を収めてください。